

# 第9回ごみと水を考える集い

(第9回 藤前干潟 伊勢・三河湾のごみと水を考える集い)

日時:2020年1月25日(土)午後1時~4時30分(受付午後0時30分)

会場:藤前会館(案内図・裏面に掲載) TEL:052-301-3340

所在地:名古屋市港区藤前一丁目742

入場  
無料

## ★記念講演

### 「伊勢湾のマイクロプラスチック」

四日市大学環境情報学部

大八木麻希准教授

11月10日(日)中日新聞一面で「微小プラ1平方メートルに6万個」との見出しで四日市大学千葉賢教授の研究結果が報道されました。千葉教授と一緒に「マイクロプラスチック問題」に取り組んでおみえの四日市大学大八木麻希准教授に「伊勢湾のマイクロプラスチック」と題して、伊勢湾の海浜の調査・研究を講演して頂きます。中日新聞の千葉教授の研究についても紹介がある予定です。

## ★特別報告

### 「2019年度ヨシ原調査報告」

中部大学応用生物学部上野研究室

2019年度、藤前干潟のヨシ原保全の取組は、「ヨシ植栽」という新たな取組に突入しました。この事態における環境調査結果を報告して頂きます。

## ★分散会で発表と交流

全ての参加団体が活動報告  
交流と話し合い ★甘酒交流会も

『マイクロプラスチック問題に市民として何ができるのか?』を話し合いたいと思います。

### 庄内川のマイクロプラスチック数密度全国1位!?

11月21日(木)、河川財団名古屋事務所研究発表会において、庄内川は全国1のマイクロプラスチック数密度!との発表がありました。東京理科大学工学部土木工学科助教片岡智哉さんが、全国70河川90カ所の調査の結果の暫定値として発表されたものです。庄内川は1回だけの調査でありNO1とするのは早計で、今後調査を待つ必要があるとのこと。しかし、既に相当な量が流れていることは間違いのないようです。

<呼びかけ5団体> ★土岐川・庄内川源流の森委員会  
★NPO土岐川・庄内川サポートセンター ★22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会  
★藤前干潟クリーン大作戦実行委員会 ★四日市ウミガメ保存会  
<問合せ・事務局>

鈴木康平(藤前干潟クリーン大作戦実行委員会)  
電話 090-8421-1037 FAX 0568-52-0267  
Mail: suzuki.1@re.commufa.jp  
https://cleanupfujimae.jimdo.com/

今、積年の遺物である石油由来漂着ごみ問題は、「マイクロプラスチック問題」として、伊勢湾、海洋のみならず伊勢湾に繋がる河川でも顕在化しています。

2012年1月の「第1回ごみと水を考える集い」で「答志島にゴミ拾いに行こう」と提唱されたことを契機に「22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会」が結成され、その後の9年間で10回の奈佐の浜清掃活動と7回の三県持ち回りエクスカージョン活動が行われ、伊勢湾に繋がる愛知、岐阜、三重の各地で旺盛な清掃活動が展開されています。

県境を超えた伊勢湾流域一帯の海、川、里、山から漂着ごみをなくそうとの取組は、新たな課題を投げかけています。

「第9回ごみと水を考える集い」は、昨年に続いて伊勢湾における「マイクロプラスチックの現状や課題」を学び、どうしたらよいか改善策を含め、市民レベルでの今後の取組を考える会としたいと思います。

伊勢・三河湾、藤前干潟につながる流域で活動いただいている皆さまに参加を呼びかけます。是非、ご参集下さい。

朝刊トップで報道!「2019年11月10日中日新聞より」

2019年(令和元年)11月10日(日曜日) 中日新聞社 2019

### 伊勢湾のごみ集まる浜

# 微小プラスチック1平方メートルに6万個

三重県鳥羽市の鳥羽・答志島の浜に、海岸外側で細かく砕けたマイクロプラスチックが、一平方メートルあたり6万個の密度で集まっていることが、四日市大学の調査で明らかになった。四日市大学の調査で、伊勢湾の海浜に、マイクロプラスチックが、一平方メートルあたり6万個集まっていることが明らかになった。調査は、伊勢湾の海浜に、マイクロプラスチックが、一平方メートルあたり6万個集まっていることが明らかになった。

調査は今年11月、鳥羽・答志島の浜に、海岸外側で細かく砕けたマイクロプラスチックが、一平方メートルあたり6万個の密度で集まっていることが、四日市大学の調査で明らかになった。四日市大学の調査で、伊勢湾の海浜に、マイクロプラスチックが、一平方メートルあたり6万個集まっていることが明らかになった。

### 海洋汚染 地球的課題に

プラスチックごみの海洋汚染は、地球規模の課題となっている。海洋汚染は、地球規模の課題となっている。海洋汚染は、地球規模の課題となっている。

# ごみが生まれにくい社会創りをめざす7項目アピール 私たちは、呼びかけます。

- 子どもたちが安心して元気に遊ぶ水辺を取り戻しましょう。
  - たくさんの生きものたちが生息する場を取り戻しましょう。
  - ごみを見つけたら勇気を出して拾いましょう。
  - ごみを捨てない大人と子どもをはぐくみましょう。
  - ごみが生まれにくい社会を創りましょう。
  - 山、川、里、海それぞれで活動する人どうしの繋がりをつくりましょう。
  - 流域全体で人と自然が共生する環境を創りましょう。
- (「第1回～第8回のごみと水を考える集い」で採択しました。)

## 会場案内図

マイクロバス利用

無料

あおなみ線名古屋競馬場前からマイクロバスを運行します。帰りもあります。事務局まで申し込みの上ご利用願います。名古屋競馬場前駅西側の道路から、午後12時05分 発車します。途中で、庄内川・新川中堤の漂着ごみの実態を視察します。

三重交通バス利用

★ 名鉄バスセンター3F(名古屋駅)午前11時発・三重交通バス:サンビーチ日光川行き(尾頭橋・日比野六番町経由)「南陽町藤前」下車、徒歩5分、乗車料金220円

★ 名鉄バスセンター3F(名古屋駅) 午前12時25分発・三重交通バス: → サンビーチ日光川行き(イオンモール名古屋茶屋経由)「藤前五丁目」下車 徒歩8分、乗車料金400円(高速利用のため)



この取り組みは、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

<呼びかけ5団体> ★土岐川・庄内川源流の森委員会 ★NPO土岐川・庄内川サポートセンター ★22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 ★藤前干潟クリーン大作戦実行委員会 ★四日市ウミガメ保存会

<問合せ・事務局> 鈴木康平(藤前干潟クリーン大作戦実行委員会) 電話 090-8421-1037 FAX 0568-52-0267  
Mail: [suzuki.1@re.commufa.jp](mailto:suzuki.1@re.commufa.jp) <https://cleanupfujimae.jimdo.com/>